



岩井やすのり県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13

電話043(227)7411

ICT教育へ人的支援を

小中学校の授業サポート

岩井泰憲県議(印西市・印旛郡栄町、3期)は9月定例会県議会で登壇し、小中学校のICT教育や児童の交通安全対策、新型コロナウイルス感染症などの取り組みなどについて熊谷俊人知事ら県執行部に尋ねました。ICT教育を円滑に進めるにはGIGAスクールサポーターによる支援が欠かせないとして、人材の配置などを質問、児童の交通安全では県警が策定した千葉県警察交通安全緊急対策アクションプランについて質問しました。岩井県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。



9月定例会県議会で一般質問を行う岩井泰憲県議

9月定例会県議会一般質問

岩井議員 小中学校現場での一人一台学習用端末の整備が達成されたとはいえ、効果的なICT教育の実現のためには、それを支える人的支援が不可欠。

学校におけるICT環境整備の設計、工事等の業者対応、端末の使用マニュアルの作成など、学校における環境整備の初期対応を行う

GIGAスクールサポーターに対し、ICT支援員は授業計画の作成支援、校務システムの活用支援、研究支援など日常的なICT活用の支援を行うこととされている。

ICT環境が十分に整ったとはいえない学校現場において、引き続きGIGAスクールサポーター制度を活用しながら環境整備に努め

必要がある一方、一足飛びに進むICTへの対応を迫られる教員を支え、より効果的な授業展開をサポートするICT支援員の存在も欠かせない。

そこだろうか、小中学校において一人一台端末を円滑に活用した授業が展開できるよう、県教育委員会として、ICT教育現場

を支えるGIGAスクールサポーターやICT支援員等の人的な支援を行うべきと考えられているのか。

教育長 小中学校におけるICT活用教育を推進する上で、授業における一人一台端末の円滑な利用を支援する人材は大変重要であると認識しています。

そこで、県教育委員会では、小中学校のICT活用教育を支援・推進するため、専門知識を有する人材を全教育事務所等に配置する費用を9月補正予算に計上し

再質問

岩井議員 ICT支援員は現在、国による地方財政措置では4校に1人との位置づけであり、決して十分な状況とは言えない。特に小規模自治体ではICT支援員の配置、教育現場の増員は難しく、自治体間での教育格

差が生まれないかとの不安の声も聞かれる。そこだろうか、学校現場で取り組むICT支援員の拡充を図っていくべきではないかと考えるかどうか。

教育長 県内市町村のICT支援員の配置状況については、議員の一般質問にもご

ICT自治体の3割「配置せず」

いしましたが、国の目標である4校に1人以上の配置を行っている自治体が約4割ある一方で、1人も配置できていない自治体が約3割とあり、その中には財政的な理由により配置できないという自治体もあると聞いております。

県教育委員会では、希望する全ての学校にICT支援員を配置できるよう、引き続き、全国都道府県教育長協議会等を通じて、予算の拡充や継続について国に要望してまいります。

岩井議員ネットワーク環境の改善要望

岩井議員 GIGA構想に基づく学習用端末の整備については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、子どもたちの学校環境が一変したこと、遠隔操作にも対応した1人1台端末整備が前倒しとなり、昨年度中に県内のほぼすべての中学校に整備されることになっている。

今年9月、地元栄町の町立布鎌小中学校のICT教育の現場を訪れ、ICT教育の現状について話をうかがってきた。

一つ気になったのが、端末がフリーズしてしまい、授業に参加できなかった児童がみうけられたこと。端末本体はネットワーク環境の問題のほか、一斉に使用することによるクラウド上のトラブルも原因として考えられるとのことだ。これらの不具合が頻発していることで、教員が本来の業務である指導業務に専念できず、児童生徒の授業に少なからず支障を来していると思われる。

このネットワーク環境の課題について、国に対し、状況の把握とその改善を求めるようお願いする。

●印西市・栄町と県政のために

岩井やすのり 県議事務所

〒270-1515 千葉県印旛郡栄町安食台2-26-23 大山ビル202
TEL.0476-36-7799 FAX.0476-36-7802

